

健康のひろば

—20—

地元の医師がアドバイス

十二月に突然の

☆

目まいと吐き気が続き、救急車で病院に運ばれ、耳鼻科で診てもらいました。検査の結果、耳石と思われるとの診断でしばらくの様子を見ようと言われ、詳しく尋ねることもできず、薬もなく返されました。今はたまにふらつきがある程度ですが、何時再発するか不安です。耳石とはどんな病気で何が原因なのですか、今後注意することは？
(名寄市・七十五歳・男性)

まず耳石について説明します。人間の耳には、皆さんご存知の音を聴くという働き他に、身体の平衡を保つという働きがあります。平衡保持は三平規管と耳石器の二つの感覚器により成り立っています。三平規管は聞いたことがあると思います。

耳石器には卵形のうと球形のう（図）があり、重力等を感じる有毛感覚細胞に平衡砂（耳石）という極めて小さな砂粒のようなものが多数ついており、その砂粒が直線加速、重力遠心力を感じています。体を動かした時、この砂粒がはがれ落ち、三平規管内を移動し、めまいを引き起こすことがあります。（吐気や嘔吐を伴うこともあります）それを「良性発作性頭位めまい」といいます。

頭を急に動かしたり、物を取ろうとして上を見たり下を見たりすると、めまい発作が起きます。めまい発作が起きると、最初は大変驚きますが、生命に別状はありません。良性発作性頭位めまいは、通常しばらく安静にして自然におさまります。

一般的に治療法としては、体位を変換し、はがれた砂粒を元に戻すようにします。

（エプレー法等）。再発することはありません。とが多い印象があります。
(医療法人臨生会・吉田病院長・吉田肇)

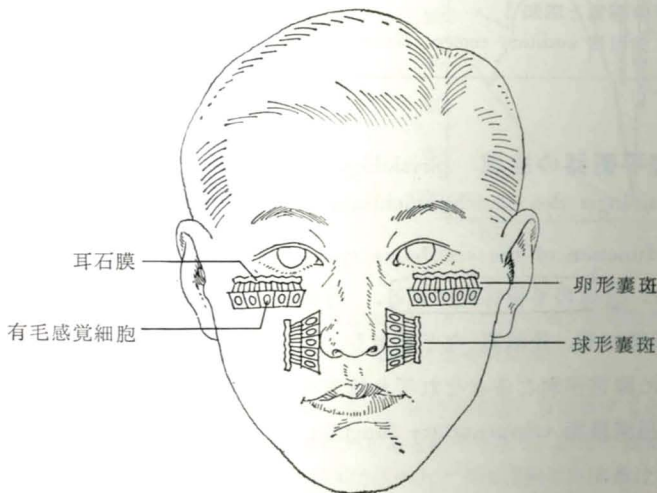


図 40. 頭と球形囊斑, 卵形囊斑の位置 (Lemoyné)

突然の目まいと吐き気

